

みうら学・海洋教育ネットワーク通信 NO.19 令和3年3月1日

今年度の海洋教育写真コンテストの入賞作品を

三浦市立病院で展示 3月末まで

現在、三浦市立病院で、今年度の海洋教育写真コンテストの入賞作品を展示しています。

5年前から、毎年、病院の内科待合室に展示させてもらっています。今年は、最優秀賞から特別賞までの15作品が紹介されています。いずれも、市内の小中学生が撮影した力作ぞろいです。

病院を訪れた方の目を楽しませることができればと思っています。

3月末まで展示する予定ですので、病院へお越しの場合は、ぜひご覧いただければと思います。

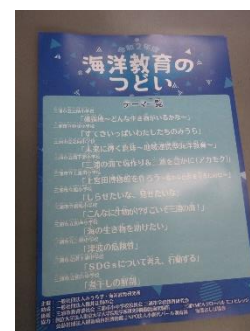


磯観察からSDGsまで 市内小中学校の海洋教育のまとめのパンフレットが完成

市内小中学校全11校が、今年度、海洋教育に取り組んだ内容をまとめたパンフレットが完成しました。(左の写真)

内容は、磯観察から、マグロの学習、塩づくり体験、煮干しの解剖、そしてSDGsの学習まで多岐にわたっていて、各校の海洋教育の特色や学びづくりの工夫が伝わってきます。

このパンフレットは、各校の取組の概要をまとめたもので、全学校の児童・生徒に、3月上旬に配付する予定です。また、詳しい内容をまとめた冊子を、市内全教職員に配付します。



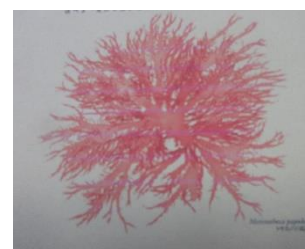
トサカノリ（鶏冠菜）はなぜ赤い？

海藻サラダや刺身のつまとして赤い色どりを添えるトサカノリは、紅藻の一種で、10m以上の深さのところに生育していることが多いです。

トサカノリの暮らす深い海底に届く太陽の光は緑色になってしまいます。緑色の光は緑色の葉緑素ではほとんど吸収できませんが、「補色」の関係にある赤い色なら吸収できるのです。

つまり、トサカノリの赤い色素は、葉緑素の代わりに緑の光を捕らえるアンテナとして、光合成の手助けをしているという訳です。トサカノリの美しい色彩は、海中深く緑色の光の下で暮らす“生活の知恵”だったのです。

(株) 舵社 「ボート倶楽部」掲載の野田三千代先生の文章、写真を引用させていただきました。



みうら学・海洋教育に関するお問い合わせは、

学校教育課まで 882-1111 (内線428)